

資料2 中学校昼食実施方式について ～経費比較（ランニングコスト）～

■ランニングコスト（維持管理費等）

（単位：千円）

実施方式名		自校調理方式 （食缶方式）				親子調理方式 （食缶方式）				センター調理方式 （食缶方式）				デリバリー方式 （食缶方式）				デリバリー方式 （弁当箱方式）			
		田辺	大住	培良	計	田辺	大住	培良	計	田辺	大住	培良	計	田辺	大住	培良	計	田辺	大住	培良	計
給食実施場所																					
維持管理費	人件費、調理業務委託料	40,000	33,000	21,000	94,000	40,000	31,000	15,000	86,000	87,000				135,470				135,470			
	配送費	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000	5,000	5,000	5,000	15,000								
	消耗品費等 ※給食施設等	10,000	7,000	2,000	19,000	10,000	7,000	2,000	19,000	18,615				0				0			
	消耗品費等 ※配膳室	0	0	0	0	30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90
教育扶助及び 就学援助	要保護（国1/2 市1/2） 準要保護（市10/10）	18,200				18,200				18,200				18,200				18,200			
計		131,200				128,290				138,905				153,760				153,760			
経費比較内容		<ul style="list-style-type: none"> ・現場が分かれているため、それぞれの現場で調理師の配置、消耗品費が発生する。 ・自校調理方式の場合、給食室で受け渡しをするため、配膳室が不要となる分、経費が削減される。 ・調理場と学校が同じ敷地であるため、配送費が不要となる分、経費が削減される。 				<ul style="list-style-type: none"> ・現場が分かれているため、それぞれの現場で調理師の配置、消耗品費が発生する。 ・自校調理方式の場合、給食室で受け渡しをするため、配膳室が不要となる分、経費が削減される。 ・調理場と学校が同じ敷地であるため、配送費が不要となる分、経費が削減される。 				<ul style="list-style-type: none"> ・調理場を一箇所に集約できるため、給食室にかかる消耗品等が自校調理方式、親子方式と比較すると安くなることが想定される。 ・調理場と学校が同じ敷地内でないため、配送費が必要となる分、経費がかかる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・「調理、配送、洗浄、消毒」の全てが外部委託となるため、契約に伴う年次コストは他方式と比べて高くなる可能性がある。 ・委託料は多額になるが、給食室の設置が不要、様々な事務手続き等すべて委託する形となることによる教育委員会負担が軽減 				<ul style="list-style-type: none"> ・「調理、配送、洗浄、消毒」の全てが外部委託となるため、契約に伴う年次コストは他方式と比べて高くなる可能性がある。 ・委託料は多額になるが、給食室の設置が不要、様々な事務手続き等すべて委託する形となることによる教育委員会負担が軽減 			

※田辺中については、自校調理方式の額を計上